

岡崎小学校をどんな学校に…

4月からスタートした今学年も、折り返し地点を過ぎようとしています。子供たちは、今のクラスの友達や先生にも慣れ、自分を安心して表現できる仲間を増やしてきたところでしょうか。

先日、高学年の子供たちと岡崎小学校について話し合う機会をいただきました。高学年ですから各々の価値観をしっかりとっているのも、どんなことに重きをおいて学校というものを見ているのかを知ることができました。子供たちには、岡崎小学校がこんな学校になってほしいという願いがありました。

- ◎ みんなが気持ちよく(心情面、環境面)
- ◎ 自分の力を伸ばせる
- ◎ 安心して過ごせる(心情面、安全面)

そのために、自分たちにできることは何だろうかということも話し合いました。いろいろな方法を出してくれました。なかには、どんな方法をとりうとも、その意味を理解してもらったり、納得してもらったりしないといけないという意見もありました。また、運動を起こしても一過性のものであるから、持続していくことが難しいとの意見もありました。(呼びかける方も、呼びかけられる方も)まずは、キャッチーなものをという視点から動画を制作してみても…という意見もありました。

「始めないと始まらない」「やってみないと分からない」「するかしないかではなく、どうやってするのかを考える」いろいろ思うところがありますが、前述したように折り返し地点を過ぎた今、始めることができたなら、きっと何かは変わり、また、思いを引き継いでくれる子供たちもいるのではないかなと思います。

一人一人の努力とみんなの協力で、よりよくしていくことができるのではないかと考えさせられた時間でした。

(教頭 西村 里美)